

風しん抗体検査費用の助成

風しん含有ワクチンの効果的な接種を実施し、先天性風しん症候群の発生や風しんの流行を防ぐことを目的に、風しん抗体検査費用の助成を実施します。検査の結果により、風しんの抗体価が低いことが判明した場合には、風しん含有ワクチンの接種をお勧めします。（ワクチンの接種費用は、自己負担となります。）

【対象者】

西宮市に住民登録を有する方で、次の各号に該当する方。ただし、過去に風しんの抗体検査を受けた結果、十分な量の風しんの抗体(HI法32倍以上相当)があることが判明している方を除きます。

- (1) 妊娠を希望する女性
- (2) 妊娠を希望する女性の配偶者等同居者
- (3) 風しん抗体価が低い妊婦（HI法による抗体価1：16以下またはEIA法による抗体価8.0未満）の配偶者等同居者

※同居者とは、住民登録地の住所が同一の方のことです。

【申し込み方法及び検査までの流れ】

- ① 西宮市ホームページから電子申請を行うか、受診券交付申請書を郵送してください。
- ② 申し込み時に、氏名・住所等のほか、検査を受ける予定の医療機関を指定してください。
【対象者（3）の方については、申し込み時に妊婦の抗体検査の結果の写しの提出が必要です。】
- ③ 申請受付後、郵送で受診券一式を送付いたします。お手元に届きましたら、申し込み時に指定した医療機関へ検査の予約を行ってください。
- ④ 検査当日に受診券一式を医療機関へ提出し、検査を受けてください。検査結果は後日医療機関でお伝えいたします。

申し込み方法の詳細については、西宮市ホームページをご参照ください。

URL：<https://www.nishi.or.jp/kenko/hokenjojoho/kansensho/kansenyobo/fushinyobo.html>

【検査費用】

無料

【申し込み受付期間】

2024（令和6）4月1日から2025（令和7）年3月15日受付分まで

風しんと先天性風しん症候群について

風しんは、風しんウイルスによって起こる急性の発疹性感染症で、潜伏期間は2～3週間（平均16日～18日）です。主な症状として発疹、発熱、リンパ節の腫れがみられます。また、妊婦特に妊娠初期の女性が風しんにかかると、先天性風しん症候群を持った赤ちゃんが生まれる可能性があります。先天性風しん症候群では、難聴や心疾患、白内障、精神や身体の発達の遅れなどの障害がみられます。

《担当》〒662-0911 西宮市池田町8番11号

西宮市保健所 保健予防課 予防接種チーム ☎ 0798-35-3308